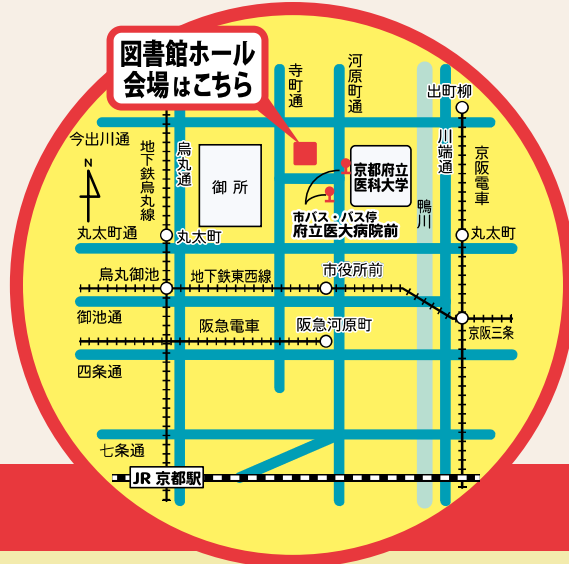


平成30年1月  
**21**日

午後1時30分~午後4時30分



京都府立医科大学  
図書館ホール

入場無料  
(事前申込不要)

※どなたでもご参加いただけます  
のでぜひお越し下さい。

※会場に駐車場はございません。  
公共交通機関をご利用頂くか、  
近隣の有料駐車場をご利用ください。

日時

場所

一般社団法人 日本損害保険協会 助成  
第20回 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

# 高次脳機能障害者の家族会の原点を見つめ未来へ



講演「高次脳機能障害とともに」~今を生きるそして明日へ~

NPO 法人  
日本脳外傷友の会  
Japan Traumatic Brain Injury Association

理事長

古謝 由美さま

(脳外傷友の会三重 tbi ネットワーク代表)

プロフィール

1995年9月、息子(当時16歳)が交通事故に遭い、  
それまでごく普通の主婦であった私は息子の障がいを通じ、  
福祉とは、障害者が安心して暮らしていける社会とは、など  
数多くの疑問を感じ「？」を知りたくて会活動を始めました。  
家族亡き後、地域で暮らしていく術を皆で考えていきたいと思います。



当事者・家族による経験談、演奏



お問い合わせ先：京都府リハビリテーション支援センター

☎：075-251-5399

主催：脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会京都実行委員会  
後援：一般社団法人 京都府医師会、公益社団法人 京都府看護協会、一般社団法人 京都府理学療法士会、一般社団法人 京都府作業療法士会  
一般社団法人 京都府言語聴覚士会、京都精神保健福祉士協会、一般社団法人 京都府臨床心理士会、社団法人 京都社会福祉士会、公益社団法人 京都府介護支援専門員会  
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会、社会福祉法人 京都市社会福祉協議会、京都府教育委員会、京都弁護士会、京都医療ソーシャルワーカー協会  
協力：京都府、京都市

# 高次脳機能障害とは

病気や事故などが原因で脳が損傷し、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに、機能障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。

事故や病気のあと何か変わったと感じたら見えにくい障害(高次脳機能障害)かもしれません。

## 記憶障害

- ・すぐに忘れる
- ・何度も同じことを聞く
- ・少し前、または直前のことを覚えていない



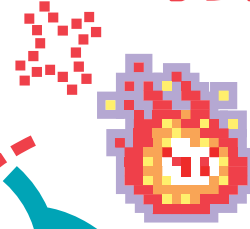
## 注意障害

- ・ぼんやりとしている
- ・気が散りやすい
- ・うっかりミスが多い
- ・すぐに飽きて集中力が続かない



## 行動と感情障害

- ・イライラしやすく怒りやすい
- ・何もしようとしてない
- ・突然の暴言や暴力、大声などの行為をする

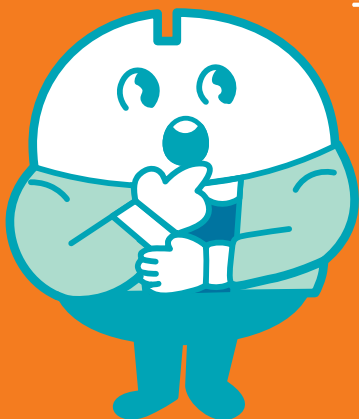
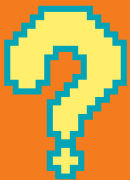


## 遂行機能障害

- ・作業を計画的にこなせない
- ・周囲を気にせず自分勝手に行動してしまう
- ・簡単な操作ができない
- ・物事の優先順位がつけられない



ひとりで悩まずに相談してみませんか？



思いもよらない事故や病気に遭遇して、様々な不安や悩み、戸惑い、ご苦勞を抱えていませんか？  
身体的なケガや病状は他人からみてもわかりますが、脳の傷は見えわかりません。  
当事者本人も自分の症状に気づきにくく、前と変わりはないと思っていることも多いです。  
性格が変わった、何が変わったかわからないけど色々うまくできなくなった、…など  
外見上は問題ないように見えても、脳を損傷したことによって  
「高次脳機能障害」の症状があるかもしれません。  
病院でのリハビリが終了し、退院して家庭での生活や仕事に復帰した後に、  
現れる変化に本人や家族、周囲が戸惑い、誤解し、しばしば対人場面でトラブルになることもあります。

周りのサポートや対応を知ることにより、生活がしやすくなることがあります。  
できること、できないことがわかり、就労につながることもあります。